

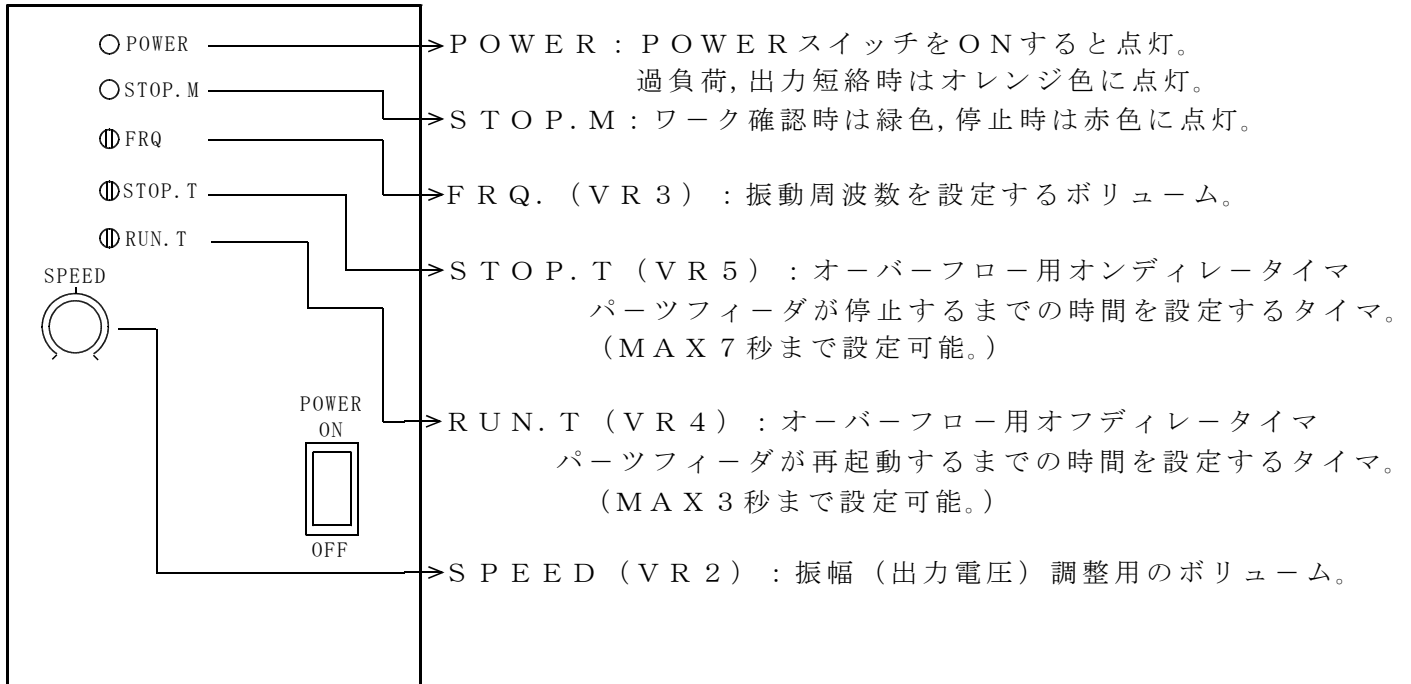
周波数可変式 コントローラ C R F - 8 取扱説明書

コントローラ C R F - 8 は周波数可変式で各電磁式本体の用途, 使用条件などに応じた駆動周波数がパネル正面のボリュームで設定可能。各種制御に必要な付加機能は標準装備。

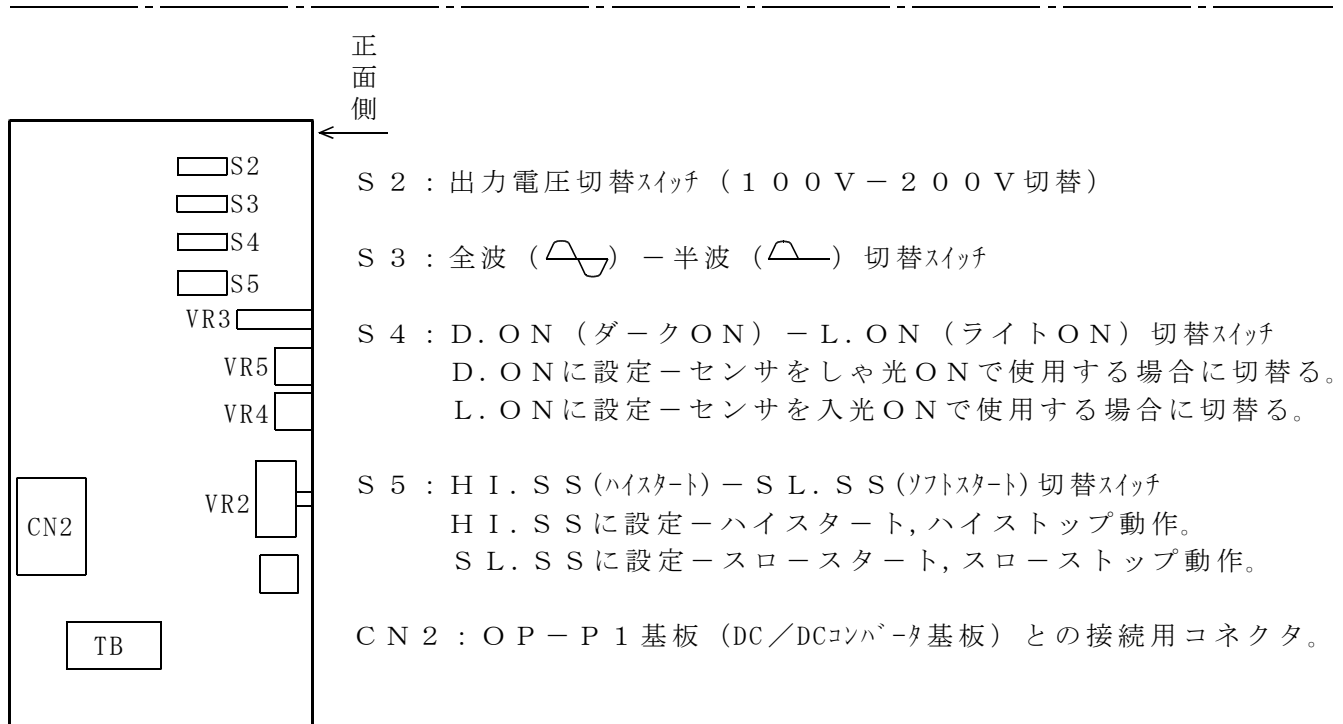
●仕様

名 称	周波数可変式コントローラ	
形 式	C R F - 8	
入 力	電 圧	A C 8 0 ~ 2 2 0 V
	周 波 数	5 0 H z / 6 0 H z
出 力	駆動方式	インバータ方式
	電 圧	0 ~ 1 1 0 V / 0 ~ 2 2 0 V (基板内スイッチで切替)
	電 流	コイル 8 Aタイプ
	周 波 数	半波 4 0 ~ 1 0 0 H z, 全波 8 0 ~ 2 0 0 H z (基板内スイッチで切替)
付 加 機 能 (標準装備)	運転, 停止 外部制御 (出力回路とは アイソレートされ ています。)	外部よりコントローラへ電圧供給 D C 1 2 ~ 2 4 V の範囲で印加。 O P - P 1 基板を装着。 D C 1 2 V で使用できる光電スイッチ, 近接スイッチ又は無電圧有接点にて制御。
	オーバーフロー	外部より電圧(DC12~24V)を印加, または O P - P 1 基板装着で光電, 近接スイッチ又は外部信号(無電圧有接点)を接続することにより, 満杯停止ができる。外部センサへの供給電源容量は D C 1 2 V, 1 3 0 m A が限度。 オンデレイタイマー(最大設定7秒), オフデレイタイマー(最大設定3秒)を内蔵。
	ソフトスタート	電源投入時や外部信号等で運転開始時に振幅が滑らかに立ち上がるソフトスタートを内蔵。(ハイスター, スロースターは基板内スイッチで切替)
	過負荷, 短絡 の保護	過負荷または短絡時に P O W E R ランプがオレンジ色に点灯。 (自動復帰型)
	冷却用ファン 装備	通常運転時, 内部温度の上昇を減少させる為に冷却用ファンで強制冷却。
	ノイズフィルタ 内蔵	内, 外ノイズの影響を少なくするためにノイズフィルタを内蔵。
オプ ション (別売り)	O P - P 1	D C / D C コンバータ基板(O P - P 1)で供給電源容量は D C 1 2 V, 1 3 0 m A が限度。
	O P - 5	リレー基板(O P - 5)を付加すれば, パーツフィードと同期した信号(運転, 停止信号)がリレー接点 2 c。(1 C 接点の O P - 4 も有ります。)
環 境 ・ 構 造	周囲温度	- 1 5 ~ 3 5 ℃ (氷結, 結露しないこと)
	周囲湿度	3 5 ~ 8 5 % R H
	外 形 色	マンセル記号 N - 3.0 メタリックシルバー
	外形寸法(mm)	約 1 7 4 W × 3 1 0 H × 1 4 0 D (含む冷却ファン用 B O X)
	重 量(Kg)	約 K g

●各部の名称と機能



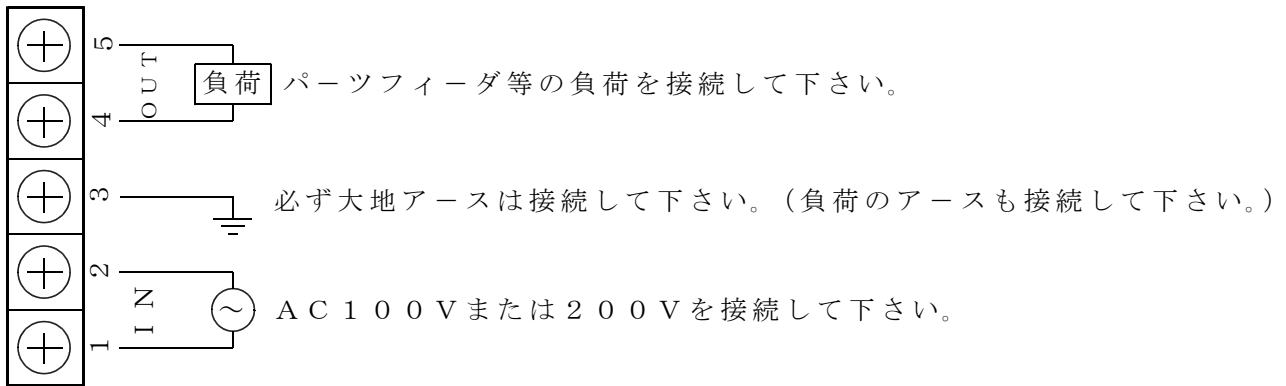
パネル配置図



CRF-8S基板配置図

●端子台の接続

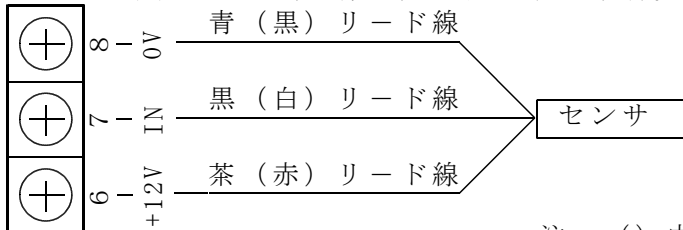
1. 入力電源（端子番号1, 2, 3）と負荷（同4, 5）の接続。（CRF-8M基板の端子台）



2. 外部制御端子（端子番号6, 7, 8）の接続。（CRF-8S基板の端子台）

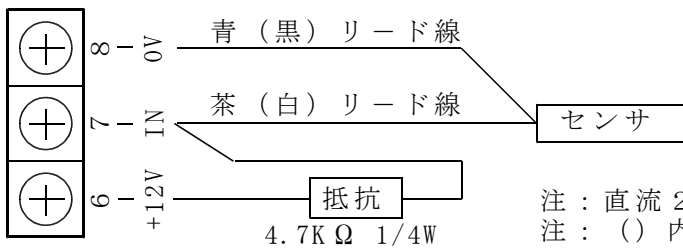
a. OP-P1基板（DC/DCコンバータ基板）を装着。

(1) センサ（3線式）を使用する場合。



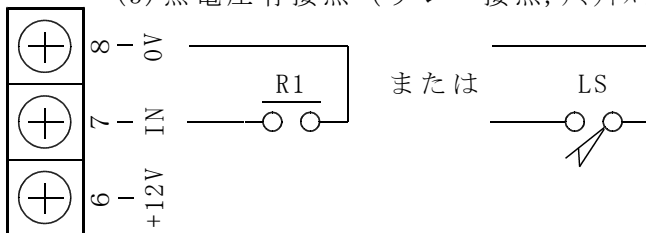
注：（）内リード線色は旧JIS規格による。

(2) センサ（直流2線式）を使用する場合。



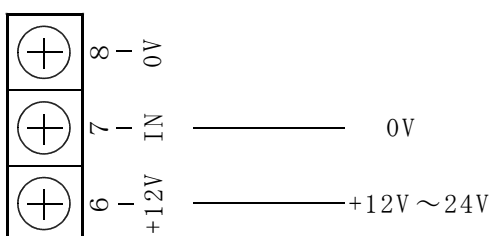
注：直流2線式センサは別途相談をお願いします。
注：（）内リード線色は旧JIS規格による。

(3) 無電圧有接点（リレー接点, リミットスイッチ等）を使用する場合。

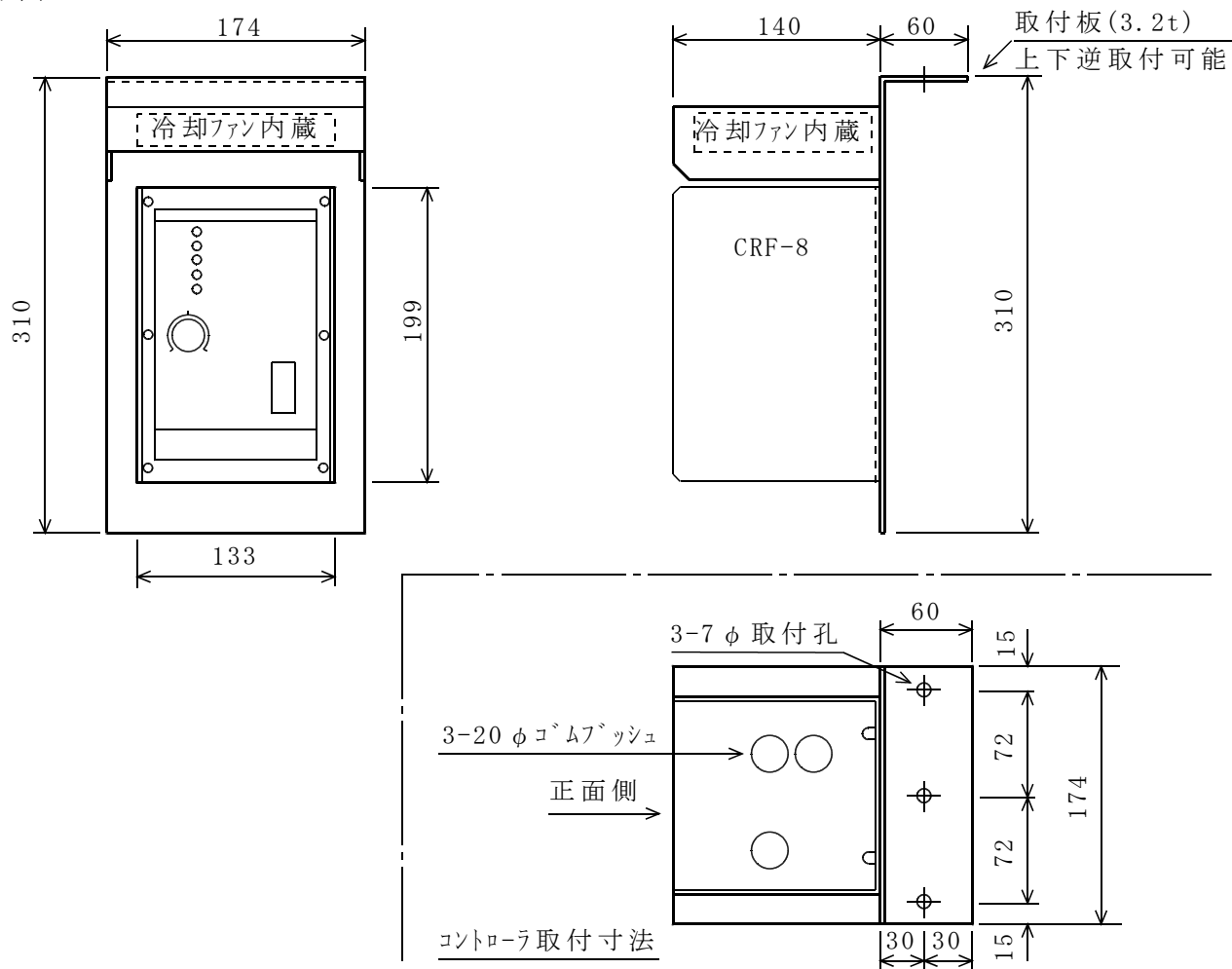


b. 外部よりDC12V~24Vを供給する場合。

（OP-P1基板は装着無し）



●外形図



●使用上の警告

1. 各端子に配線作業する場合やコントローラ取付後にパネル部分を取り外す時には電源スイッチをOFFし、さらにコントローラへ供給している電源元をOFFして下さい。
2. コントローラの定格電流以上の負荷を接続した場合や、短絡している時はPOWERランプがオレンジ色に点灯し、コントローラを保護します。点灯した場合は電源を切りその原因を究明して下さい。
3. 入力電源を頻繁にON, OFFしないで下さい。
4. 負荷を一時的に停止させたい場合は必ず外部制御端子（端子番号6, 7, 8）を使用して下さい。
5. CRFコントローラは電子機器につき、絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験は絶対行わないで下さい。
6. OP-P1基板を装着した場合、外部制御端子（端子番号6, 7, 8）には電圧を印加しないで下さい。